

市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



昨 年12月、鹿屋市輝北町に女子プロソフトボール球団が発

足。今シーズンから日本リーグ3部への参戦も決まりましたね。改めましておめでとうございます。野球よりも塁間の距離が短く、身体接触にも注意せねばならない。相手チームと新型コロナウイルス、両方に同時対応が求められる今までになかった戦略を立てる必要があるのかもしれない。(Y・Kさん・男性)

本市はソフトボールが盛んな土地柄もあり、小学校のスポーツ少年団でソフトボールを始めて、その後中学校や高校の部活などでソフトボールを続ける、あるいは野球の道に進む人が数多くいます。そんな本市に女子プロソフトボールチーム「MOR ALL WAVE KANOYA」が誕生しました。今年5月には市内で公式戦が行われる予定もあり、チームの目標である1部昇格に向けて皆さんの熱い応援をお願いします。

コロナ禍で大変な世の中になりましたが、家の中に閉じこもっているのも何だかストレスが溜まりますよね。ストレスが…ってなった時は1人ドライブに出かけています。この間、鳴之尾牧場に行ってきました。たくさん牛を眺めながらのんびりとした時間を過ごすことが出来ました。広々としていて密にもならないので今の時期にはとてもおススメのスポットです。(ちほりっしゅさん・女性)

新型コロナウイルスの影響による普段とは違う生活環境や外出自粛などで、知らず知らずの間にストレスが溜まる方は多いと思います。ちほりっしゅさんおススメの鳴之尾牧場は、高隈山麓南西側の標高500mにある市営牧場です。今年の干支が丑ということもあり、牧場で飼育されている牛は広報かのかや新春1月号(No.360)の表紙にもなりました。牧場を囲む奥深い高隈山系を背景に遠方に錦江湾や開聞岳を望む雄大な自然の中、澄みきった空気を吸いながら、のんびりとした時間を過ごせる気分転換にはもってこいのスポットです。鳴之尾牧場からは高隈登山や白滝へのハイキングも楽しむことができますので、ぜひ足をお運びください。

住みよいまちをつくるのに「必要な事」や、「考えなければならぬ事」がこんなに沢山あるとは知りませんでした。特に人口減少に伴う問題にはとても関心を持ちました。今まで何も深く考えることなく利用していたサービスに影響が出るのは困ります(病院、商店等の廃業や公共施設の維持管理)。一市民として今後、協力出来る事が分かれば一丸となり、取り組んでいきたいと思いました。(Y・Iさん・女性)

2月号(No.362)で紹介した「コンパクトシティのまちづくり」には、Y・Iさんをはじめ多くのお便りをいただきました。本市では、人口減少や少子高齢化が進行しても市民のだけれど安心して暮らせるよう、市街地の中心部だけではなく総合支所の周辺等でも住宅や商業、医療、福祉などの施設がまとまって立地している都市づくりに取り組んでいます。また現在、この取り組みを計画的に進めるための実行計画である「立地適正化計画」を作成しています。今後、市民の皆さんから将来世代にわたって持続可能で暮らしやすい都市をつくるためのご意見を募集しますので、みなでこれからの鹿屋のまちづくりを考えていきましょう。



春の草花ガーデン

かのやばら園には満開シーズン前に咲く「早咲きのバラ」と、春の草花を楽しむことができるエリアがあります。ばら園で一足早い春を感じてみませんか。

8020運動で92歳の男性が自分の歯を28本保有しているという事にびっくりしました。私も年にも1回は歯の定期受診をして、いつまでも自分の歯で食べ物を食べられるように努力をしています。今後歯の定期検診を続け、歯を大切にしていきたいと思えます。(クッキーさん・女性)

8020運動とは「80歳まで自分の歯を20本以上保とう」という運動で、親知らずを除く28本中20本以上の自分の歯があれば、ほとんどの食べ物をかみ砕くことができ、おいしく食べられると言われています。今年も自分の歯を28本保有する92歳の男性をはじめ、40の方が表彰を受けました。オーラルフレイル(口腔の虚弱)は全身の健康を脅かすとも言われているので、定期的な検診や歯科治療等により口腔内を清潔に保ち、全身の健康づくりにつなげていきましょう。